

発行／北但西部森林組合 美方郡香美町村岡区和田233-1 ☎0796-95-0511



表紙の写真

自然学校の
村岡小代小学校5年生
林業体験教室

● 組合長あいさつ	2
● 副組合長あいさつ	3
● 役員の紹介	3
● 「村岡小学校木質化の取組」について	4
● 木質バイオマス燃料用のためのチップ生産体制の強化について	5
● 表彰者	
● 兵庫県水源林協議会	
● 森林組合連合会	76
● 新人森林技士の紹介	7
● 職員紹介	7
● 商品の紹介	8
● 編集後記	8
● 森林施業見学会	
● 燻製講座	5
● 林業体験教室、	
● もくじ	



新年のごあいさつ

代表理事組合長 伍々博一

新年あけましておめでとうござります

組合員の皆様にはご家族お揃いで新年を迎えるに至られましたことを心からお喜び申し上げます。

ようやくデフレ経済からの脱却の兆しが見え日本経済は好転に向かいつつあります。

林業関係でも、消費税増税前の駆け込み需要もあり木材価格は一昨年夏ごろから回復し比較的安定した状況が現在も続いています。今後の木質バイオマス発電の本格的稼働に期待したいと思います。

昨年暮れの衆議院選挙において与党が多数の議席を得たことから、今後も安定した政権になり、地方の隅々まで行き渡る経済対策や農林業の活性化対策が講じられることを期待したいと思います。

引き続き、組合の経営の安定のための事業改革、組合員サービスの向上、従業員の待遇改善、職員・森林技士の技能や販売力の向上等を図って参りますので、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

美方郡内では、戦後から多くの組合員の皆様の努力により植え、管理してきていたいたいたスギ、ヒノキ等の人工林が十分に育ち木材として利用可能な時期に差し掛かってきます。一方で、間伐材等の未利用資源を使つた木質バイオマス発電が全

国的に数多く計画され、県内でも3か所予定されており、新たに大量の木材需要が生じようとしています。

このような機会を活かして美方郡の林業を再構築し、災害に強く美しい森林として整備とともに、間伐材を搬出し建築用、製紙用向けの販売に加え、新たな需要先の木質バイオマス発電用に販売することで組合員の皆様が森林から少しでも収入を得られる様に努力して参ります。

そのために、森林境界明確化や集約化施設を行う「集落林業」を進めるとともに、現在、香美町に建設していただいている木質バイオマス供給施設を有効活用するための体制を整備していきたいと思います。

美方郡内では、戦後から多くの組合員の皆様の努力により植え、管理してきていたいたいたスギ、ヒノキ等の人工林が十分に育ち木材として利用可能な時期に差し掛かってきます。一方で、間伐材等の未利用資源を使つた木質バイオマス発電が全



副組合長理事 谷口賢人

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様並びにご家族一同様には、お健やかに新しき年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当組合の運営に関し格別のご支援とご理解を賜り厚くお礼申しあげます。

私は、6月開催の総代会に於いて再度理事役員としてご承認いただき、初理事会において副組合長に互選され就任させていただきました。もとより、理事役員としての経験も浅くその任ではないと自覚しておりますが、組合員の皆様並びに、伍々組合長を始め全役員、全職員の皆様のご指導、ご協力をいただきながら精一杯この役職を務めさせていただきたいと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。

さて、当組合では伍々組合長の卓越した経営手腕のもと、役職員全員が一丸となって、今年度の事業計画に基づき着実な事業活動が図られて参りました。特に、香美町を事業主体として新たに「木質バイオマス供給施設」が現チップ工場敷地内に建設中であり、本年度末の完成が予定されています。

また、提案型集約化施業(集落林業)の取組みも着実に進展しており、利用間伐等の森林整備により、組合員に収入を還元できる状況が醸成されてきています。今後は、森林所有者が「集落林業」に取り組むことで生産される間伐材の一部が「木質バイオマス供給施設」の完成により木質バイオマス用の燃料チップの計画的生産のための材料確保に繋がり、森林所有者は収益の確保に繋がると考えます。当組合が計画する事業運営が着実に実績をあげていることは、森林所有者にも山林に対する思い入れ、収入を得る意欲が増長されると思っています。

新しき年を迎える年度の総仕上げとなるこの時期、予定の諸事業が円滑に完了し、成果ある実績を組合員の皆様にご報告できるよう役職員一丸となつて今後の運営に尽力したいと考えています。

末尾になりましたが、組合員の皆様のご繁栄並びに、ご健勝をご祈念申し上げます。重ねて今後とも格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第16期 役員の紹介



理事 上根嘉明

監事 山本清孝

監事 山根和美 理事 森吉見

理事 輪違利明 理事 中井憲司

理事 寺口良一

理事 田中洋介 理事 尾崎美津人

理事 中村治泰

理事 井上秀幸

副組合長 谷口賢人

代表監事 山根一夫

代表理事組合長 伍々博一

理事 田中満穂

理事 山盛和義

理事 中澤典男

理事 中村仁明

【木の学校】村岡小学校及び幼稚園耐震化整備工事の概要

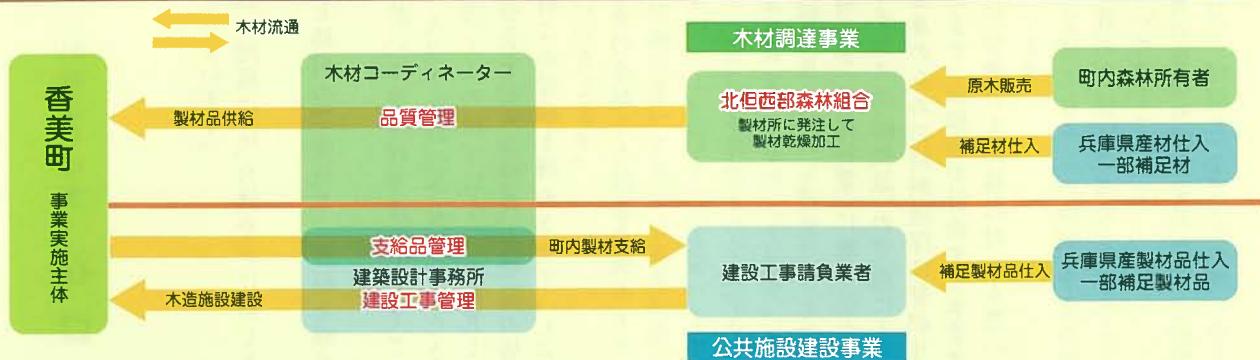
香美町では、豊富な蓄積量を誇る町内の森林資源を可能な限り有効に活用するため、公共施設の木造木質化に積極的に取り組んでいます。

そのような中で、地域の将来を担う子ども達と、保護者、地域住民そして教職員が、世代を超えて受け継ぐ『ふるさと教育』の拠点として学校施設の木造木質化整備を進めています。

木材は、町内産間伐材を積極的に活用することで、森林の適正管理と木材資源の地産地消を実施し、さらにトレーサビリティの確保と地元産木材活用の手法開発のため木材調達分離発注を実施しています。

今回、地域のシンボルとなる『木の学校』村岡小学校一期工事の概要を紹介します。

木材調達分離発注による公共木造施設建設事業フロー図

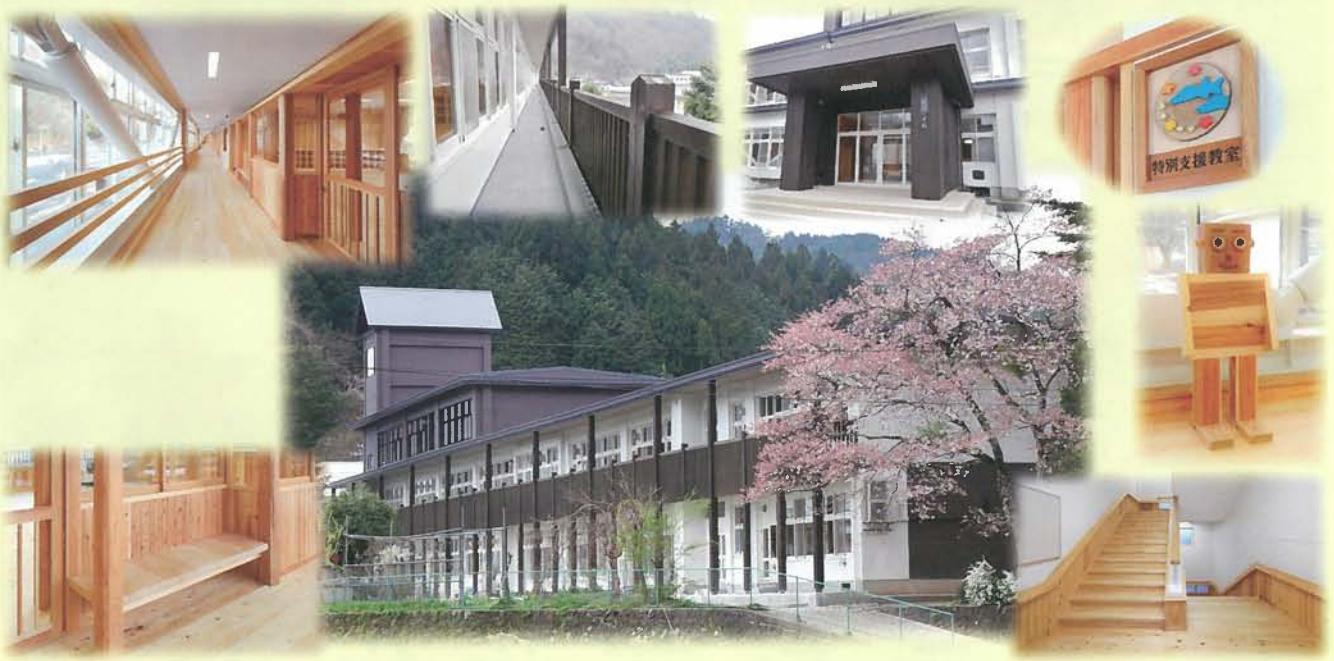


*トレーサビリティ

物品の流通経路を生産段階から最終消費段階あるいは廃棄段階まで追跡が可能な状態をいう。

村岡小学校一期工事木材調達集計表

伐採森林の所在地	樹種	林齢(年)	伐採面積(ha)	原木材積(m³)	区分	部材名	製品製材(m³)	
							町産材	県産材
香美町村岡区熊波字青梨 1288 ほか3筆	ヒノキ	90	2.00	93.94	①	外部柱	5.07	4.15
	スギ	90	2.45	59.84	②	フローリング 外壁 ベランダ格子・手すり	29.21 8.50 12.05	— — —
香美町村岡区板仕野字トロ川 546-2	スギ	70	10.00	61.29	③	壁・天井	21.05	9.32
県産材				—		外部天井 ピーリング	—	0.48
県産材				—	④	階段材・手すり・額縁 ほか	—	13.71
北但西部森林組合(チップ工場)	ケヤキほか				⑤	ベンチ	0.73	—
	スギほか				⑥	木育シンボル		0.79
	ケヤキほか				⑦	サイン		—
香美町支給材計				14.45		215.07		77.40 27.66



木質バイオマス燃料用のためのチップ生産体制の強化

当組合では朝来市の生野工業団地に建設される平成28年9月稼働予定の木質バイオマス発電所（関電グループの関電エネルギーソリューション）に燃料チップを供給するための体制作りを進めています。平成26年度に利用間伐搬出班を1班増班して3班体制にするために平成25年度に高性能林業機械プロセッサ外4台を導入し、搬出体制の強化をはかりました。また、現有のチップ工場は昭和63年稼働で施設が老朽化しており更新を検討してきましたが、香美町・新温泉町の協力のもと香美町が事業主体になって頂き「木質バイオマス供給施設」として工場を新設し、27年2月完成予定で、施設管理者として北但西部森林組合が運営していく予定です。また、26年度事業で工場用の作業機械グラップルソー外4台、運搬体制の強化のためグラップル付きトラック2台（27年3月）を導入する予定で、体



制作りを進めています。それにより間伐等森林整備により発生する未利用間伐材をチップ加工し、新たな需要先である木質バイオマス発電用の燃料として供給し、地域の森林整備の促進と人工林からの林業収入を確保することにより地域林業の再生がはかれるものと考えています。

林業体験教室

香美町村岡・小代小学校の自然学校の中で林業体験指導を森林組合、豊岡農林森林林業課、兎和野高原野外教育センター合同で兎和野高原の近くのヒノキ林で実施しました。内容は10:30～16:00まで行い、森林と人の関係、間伐の意味や効果等の話を

聞き、生徒で間伐木の選木をして直径20cm樹高15m程の木をのこぎりを使って伐倒、枝打ちをして、運びやすい長さに玉切りをして林の外へ運びました。運び出された木材は来年度の自然学校で後輩が薪割体験やキャンプファイヤーの燃料として使用されることです。



森林施業見学会

昨年につづき10月8日に集落林業（提案型集約化施業）利用間伐施業現場の見学会を実施しました。

21人の参加者にはどのようにして高性能林業機械で間伐材を搬出しているのかを熱心に見学してもらいました。



燻製講座

村岡区福岡の生活工房「香味煙」さんのご協力により、昨年、一昨年は60人からの参加を頂き盛会に講座が開催され、講師は店主井上利夫さん、息子の大作さんで基礎からプロの技術を伝授して頂きました。

本年度も1月～3月の3回講座を計画しています。



背景写真 森林総研一日影（村岡区）利用間伐

主催者挨拶：兵庫県水源林造林協議会会長 伍々 博一



兵庫県水源林造林協議会設立50周年を迎える

このたび、兵庫県水源林造林協議会は50周年を迎えました。昭和39年に当協議会の前身である兵庫県公団造林推進協議会として発足し水源林造成事業の推進造林者相互の連携と親睦を図りながら水源林の造成と保育管理を行ってきました。その記念として、去る平成26年11月28日神戸市ポートピアホテルにて設立50周年記念式典が開催されました。

水源林造成事業で植栽された面積は全国で47万ha兵庫県は県別でも5番目に多い23千haとなっており北但西部森林組合管内（美方郡内）では4千haが植栽されております。

これらは荒廃した森林の復旧と水源涵養機能を果たすだけでなく、2次3次産業に乏しい、山村に働く場と賃金の収入をもたらし地域経済に大きな貢献を果たしてきました。県下の水源林造成事業による新植面積が一番多かった年は昭和47年に約1,000haで、この面積に要した人員は延べ40,000人であり多くの働く場と収入をもたらし、今も23千haを管理するのに多くの方に従事していただいております。

あれから50年、私たちは有史以来といわれるほど充実した森林資源を手にし、併せて県民生活に不可欠な水源涵養機能や国土保全機能の高い災害に強い森を手にすることができます。これもひとえに先輩方の英知と努力の賜物であり、関係者皆様のご理解とご協力の賜物であると感謝の念に堪えません。

日本は世界に例を見ない循環型林業を行っています。日本には古くから木を植えて使うという循環の思想がありました。そして十数年前までは木で家を建て、土木工事に木を使い農機具や生活用品も木を使っていました。そして燃料としても大量に使っていました。これらは便利である、安いなどの理由で石油や鉄などの資源に変わってしまい林業不振の一因にもなっております。

しかしながら近年になって直行集成材(CLT)の開発などにより大型建築物が可能になろうとしております。また、木を原料としたエタノールの製造技術の開発や木質バイオマス発電により燃料として大量の木材需要が見込まれております。新しい形で再び木を使う社会となる可能性が生まれようとしています。

有史以来最も充実している森林資源を有効に活用していく社会を再び築いていくために水源林造成事業で造成してきました人工林を適切に保育管理するとともに資源として利活用していくことが兵庫県水源林造林協議会の使命であると考えております。

この度の記念式典で香美町村岡区味取 前森林組合代表幹事の山居茂さんと新温泉町飯野 森林組合主任森林技士村尾貢さんが兵庫県水源林造成推進功労者として表彰されました。



山居 茂 さん(82歳)
香美町村岡区味取

分譲造林契約に力添えを頂きました。

喜びの声 この度、兵庫県水源林造林50周年記念の式典にあたり、水源林造成推進者表彰を頂き大変光栄に思います。これからも、山林の水源林造成に努力していきたいと思います。

背景写真: 森林総研一大畑（村岡区山田地内）基幹作業路の開設



村尾 貢 さん(57歳)
新温泉町飯野

水源林造林の造成を頑張ってもらっています。

喜びの声 この度、大変栄誉ある賞を頂きありがとうございました。諸先輩のご指導、私の周りの方々の賜物だと思っています。これからも技術向上、後継者育成を行い、そして安全第一に心がけ、森林保育管理に努めて参りたいと思っています。



喜びの声

桑田 茂さん (61歳)
香美町村岡区長瀬
森林技士として10年以上従事して
森林整備を頑張つてもらっています。



村尾 貢さん (57歳)
新温泉町飯野



喜びの声

森林技士として10年以上従事して
森林整備を頑張つてもらっています。
今回、このような賞を頂く
ことができ光榮に思います。
これからもこの賞に恥じないよう
森林の保育管理の仕事に日々精進して
いきたいと思います。

森垣 英一さん (51歳)
香美町村岡区村岡

全国森林組合連合会 功労者表彰

(全国森林組合連合会
会長表彰)

新森林技士紹介

平成26年5月より新規採用
の森林技士として頑張ってい
る2名を紹介します。



柘 智宏 (33歳)
香美町香住区森

5月から北但西部森林組合で
林業の職に就き少し慣れてきました。
先輩達から少しでも多くの
技術を学んで早く一人前になれる
よう頑張っていきたいと思
います。



田中 智也 (38歳)
新温泉町湯

6月より森林技士として林業
に携わり、先輩方に指導いただきながら、日々経験を積んでい
ます。地元の森林の現状を知り、
森林技士として出来ることをしていきたいと思
います。

職員紹介

平成26年4月より職員として
頑張つてもらっています。



下前 仁美 (23歳)
香美町村岡区村岡

今年4月から職員として働いています。出身が
大阪なので、香美町に引っ越し目新しく驚くことが
たくさんありました。今では言葉にも慣れ、こ
なせる仕事が増えてきました。未熟な点も多々あ
りますが、日々まっすぐに精進していきたいと思
いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

